

**【学校教育目標】** **自我作古**  
 ～今までの自分を大事にしなが、新しい自分をつくるために物事に挑戦する～  
**やさしく、かしこく、たくましく、かいっぱい生き抜く児童の育成**

かしこい子 (伸びる知)      やさしい子 (伸びる心)      たくましい子 (伸びる体)

**【本校の目指す教育】**

- **基礎基本の習得と基本的生活習慣の確立**  
保護者と連携し、生活習慣や学習習慣の確立を目指す
- **協働的な学びの推進と授業力の向上**  
研究や研修を充実させ、学力向上に向け授業改善を図る
- **道徳科学習の充実と特活・総合の実践による生活づくり**  
自尊感情と自主的な実践力を育成する
- **組織として機能する体制の確立**  
学年学級と生徒指導・特別支援教育・教育相談の連携を強める
- **育ちと学びを支える連携の強化**  
保幼小接続カリキュラムの実施  
小中間の出前授業、授業公開  
コミュニティスクールの運営を通じた成果や課題の共有
- **OJTの推進による人材育成**  
目指す教師像と自己目標を持ち、互いに切磋琢磨する  
(3つの約束)  
「気持ちのよいあいさつ」「一生懸命の掃除」「靴そろえ」

**【瀬田南小の沿革と校章】**



昭和51年、瀬田小学校から分離して創立。校章は瀬田の唐橋の「ぎぼし」と「南」、そして「瀬田川の波」からデザインされた。大津市南部に位置し、学区は瀬田川沿いに広がっている。瀬田の唐橋をはじめ、古くからの文化財や旧跡も多く、シジミ漁の町としても有名である。令和4年で開校47年目を迎え、児童数は750名となっている。(令和4年10月1日現在)

**学習にかかわること(国語・算数・理科)**

**【国語】 分類別の正答状況**

**【算数】 分類別の正答状況**

**【理科】 分類別の正答状況**

**【強み・弱み】**  
 国語では、調査結果全体を通して、全国・県の正答率を上回っている。特に、「思考力、判断力、表現力等」では、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えたり、表現の効果を考えたりする設問での正答率が高い。「知識及び技能」では、文中で漢字を正しく使う設問について、全国・県よりも正答率がわずかに下回っている。

**【強み・弱み】**  
 算数では、調査結果全体を通して、ほぼ県の正答率と同じである。示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直すといった「図形」領域において、全国の正答率を上回っている。「データの活用」領域においては、分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する設問で県や全国の正答率を下回っている。

**【強み・弱み】**  
 理科では、調査結果全体を通して、ほぼ県の正答率と同じである。昆虫の生態や観察に関する「生命」領域において、県や全国の正答率を下回っている。「地球」領域では、季節や時間による気温の変化に関する設問において、ほぼ全国の正答率と同じである。どの領域においても、分析して解釈し、自分の考えを記述することに課題が見られた。

**生活にかかわること(児童質問紙)**

朝食を毎日食べている

毎日同じくらいの時刻に起きている

自分にはよいところがある

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる

先生はよいところを認めてくれている

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいる

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる

自分で計画を立てて勉強している

**家での勉強時間(平日一日あたり)**

**読書時間(平日一日あたり)**

**【強み・弱み】** 「朝食を毎日食べる」、「毎日同じ時刻に起きる」といった項目から、基本的生活が多くの家庭できちんと習慣化されていることがわかる。さらに、「自分にはよいところがある」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」等の項目でも、高い割合であてはまると答えている。自尊感情や自己肯定感の高まりが継続し、安心した学校生活を送れるよう、引き続き家庭と協力しながら個に応じた丁寧な指導支援に努めたい。道徳で自分の考えを深めたり話し合ったりする項目や、自分で課題を立てて調べ発表したりする項目では、全国を下回る傾向にあることから、昨年度に引き続き、道徳教育や学級活動、総合的な学習の時間の充実を系統的に図る必要がある。基本的生活の習慣化がなされているものの、学習の基礎となる読書時間や家庭での勉強時間において全国を下回る結果となっている。ICTも積極的に活用するなど、家庭においても自ら計画を立てて学習に臨む習慣をつけるための手立てを工夫し、さらなる自尊感情の高まりや将来の夢や目標へとつなげていけるような積み上げが必要である。

全国学力調査(2022年4月19日 6年生を対象に実施)

**【調査結果から考える重点取組事項】**

<p>〈学校での授業改善〉</p> <p>〈家庭での意識改善〉</p> <p>〈学校・家庭・地域の連携〉</p>	<p>① 自ら進んで学ぶ意欲を支援するICT機器の活用と学習環境づくり</p> <p>③ 既習の基礎基本事項(きまりや公式)の定期的な確認</p> <p>学習の習慣化(宿題に取り組む+自主学習による復習・予習、ICTの活用)</p> <p>読書活動の推進(図書室や学級文庫の充実、図書館や学校司書、電子図書館などの積極的な利用)</p>	<p>② 各教科で学んだことを生かしたり、自ら立てた課題を基に探究的に調べたりする学習の展開</p> <p>④ 道徳や学級会を中心とした話し合い活動の積み上げ</p> <p>学習時間の目安(低学年:20分 中学年:40分 高学年:60分)</p> <p>読み聞かせや学習支援など、積極的なボランティア参画</p>
--	--	--